

2025

vol.26

平和コンサート

in ながさき

被爆80年祈念事業
平和のつどい合同開催



作品提供:長与町社会福祉協議会 ほほえみの家 ふれあい工房(脇崎直子)
作品の複製及び転載は禁止します

2025 8/9 土

会場

長与町民文化ホール

開演

15:00

ごあいさつ

長与町長 吉田 慎一

本日は、たくさんの方に、ご来場いただき、誠にありがとうございます。
指方実行委員長をはじめ、実行委員会皆さまのご尽力により、「平和コンサート in ながよ」が開催されますことを、心より感謝申し上げます。

さて、被爆から80年が経過し、戦争や原爆の悲惨さなど、記憶の風化が懸念されるなか、長与町では核兵器の廃絶と恒久平和を願い、平成6年に「平和で安全な町」宣言を行い、継続して様々な平和事業に取り組んでまいりました。昨年は、「原爆被爆者救援・救護活動炊き出し釜跡地」の銘板を齊藤郷に設置し、また今年度はデジタル平和パンフレットを作成し、当時の様子を後世に伝える取り組みをおこなっております。

本日開催されます平和コンサートも、平和の尊さ、そして戦争の惨禍の記憶を風化させることなく、後世に引継ぎ発信していこうとの思いがつながり、今回で26回目を迎えることができました。

本年は、被爆80年という節目の年であり、目的を同じくする2つのイベントの合同開催として、「平和のつどい」もプログラムに織り込みました。コンサートでは、小中高生による「平和の詩朗読」をはじめ、5月から一生懸命練習に励んだ「子どものための弦楽器講座」の皆さまの演奏や「平和コンサート in ながよ合唱団」の皆さまの合唱、そして「長崎 OMURA 室内合奏団」「長与第二中学校吹奏楽部」「ジュネス弦楽アンサンブル」の皆さまによる演奏をお楽しみいただきます。出演者一人一人の平和への想いに、耳を傾けていただければと存じます。

また、プログラムの表紙の絵は、障害者通所施設ほほえみの家ふれあい工房で活動している方の作品です。そして、ホワイエには小中学生が折り鶴で作成した「折り鶴アート」の展示や戦時中などの町並みがうかがえる「被爆80年ギャラリー」を開催しておりますので、ぜひご覧ください。

結びに、本日のコンサートに出演される皆さま、ご指導や運営に携わっていただきました皆さま、そして本日お越しいただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。そして、すべての皆さまとともに、平和の祈りが世界のあらゆる人々の心に届きますことを祈念し、開催にあたりましての挨拶といたします。

ごあいさつ

平和コンサート in ながよ実行委員長 指方 浩

皆様本日は「平和コンサート in ながよ」にご来場いただき、誠にありがとうございます。2000年に音楽を奏でることによって平和の尊さを世界に発信しようと始まったこのコンサートも四半世紀たち、新たな年を迎えます。これも平和宣言の町長与町、そしてこの企画に賛同し来場し支えてくださった皆様方のおかげと深く感謝申し上げます。

この25年間、「平和コンサート in ながよ」の開催のために多くの出演者・その家族・スタッフ・そしてご来場者・このコンサートのことを見聞きした数え切れない多くの人たちが平和の尊さを深め合っていました。このことがコンサートを続けてきた一番の大きな意義です。

長与町は、町歌「明日をひらく」の歌詞にありますように、「♪平和な里わが町長与」です。幸福は求め・願い・働きかけることですが、身近に出会っている人と人どうしが仲良くあること、和を実感出来ていることが大切です。このコンサートでは、毎回多くの子ども達が参加し、音楽の演奏を体験することを通し、協力し合って調和することの大切さ、音楽を通し違いを認め合った和の尊さを体験し深めあっています。これまでの25年間に、このコンサートに参加した子ども達の中にはすでに大人となり、次の時代を担う立場に立っている人も多いことでしょう。世界に目を向けてみますと、多くの人々の平和への願いも空しく、混迷を深め、緊迫の度を増し、悪化の一途をたどっているように思えます。被爆80周年を迎え、今なお平和を希求するコンサートを開催し続けねばならない悲しみを覚えますが、私たちは、いのちより大切なものはない、戦争はしてはいけない、人を殺してはいけないと云うことを、コンサートを続けることで音楽の持つ感性を通しそれを子ども達と共に体感しています。既に調和という感覚を音楽の演奏を通して知り、直向きに音楽に取り組む姿の中に、平和に向けてのひとすじの光を感じます。この光指すところを大切に、音楽とその演奏行為に耳を傾け、尊い「和の世界」に思いを寄せたいと思います。

戦争がなくなり、この平和を願うというコンサートの一つの役割が終わるといいと思います。そして共に喜び感謝する「平和コンサート in ながよ」になり、日常の音楽演奏行為がそのまま豊かな和の生活になりますよう、ご一緒にステージの演奏に耳を傾けていきましょう。そして本日のプログラムの最後に演奏される「長与町町歌～明日をひらく～」・理想郷としての「ふるさと」に思いを寄せながら皆様と一緒に歌い、平和への思いを込めこのコンサートをともにしたいと思います。

本日はありがとうございました。

「平和で安全な町」宣言

— 核兵器の廃絶を願って —



世界の恒久平和は、人類共通の願望である。

現在・未来を通じて、平和で安全な町づくりを念願する私たち長与町民は、平和で安全な郷土を築き、子孫に引き継ぐことが、今を生きる私たちに課せられた最大の責務である。

原爆によって、長崎市とともに凄惨な被害を被った長与町は、核兵器の脅威をなくし、世界平和と人類の恒久的な安全・生存を保持するため、非核三原則を守り、核兵器のすみやかな廃絶と、紛争と戦争のない世界の実現を強く望むものである。

よって、長与町民はこの理念達成のため、誇りと責任をもって、ここに「平和で安全な町」を宣言する。

1994年9月19日
長崎県西彼杵郡長与町



平和祈念碑「愛・二人」

令和7年度 長崎県障害者芸術文化活動普及支援事業

作品提供：脇崎直子 さん

(長与町社会福祉協議会 障害者通所施設
ほほえみの家 ふれあい工房所属)

長与町社会福祉協議会 障害者通所施設「ほほえみの家」では就労継続支援B型事業を行っています。その中の部署の一つに「ふれあい工房」があります。ここでは主にパソコン関係のお仕事を行っており、名刺、ポスター、冊子などの作成、印刷等を行っています。

この度、平和コンサートのイメージイラストのご依頼をいただき、利用者の脇崎直子さんが作成しました。iPadとペンを用いてキャラクターを1つ1つデザインし、それを組み合わせて完成しました。リアリティを追求し動物の足は骨格を意識したり、ピアノの鍵盤は細部にこだわって描いたそうです。「ほっこりした絵で、楽しいイメージを伝えたい」というメッセージが込められています。



製作の様子



長与町立長与第二中学校吹奏楽部

私たち長与第二中学校吹奏楽部は、音楽を奏でることが大好きな3年生4名、2年生10名、1年生9名の計23名で、聴いてくださる方々の笑顔を励みに、元気に練習を頑張っています。吹奏楽を通して、演奏技術を高めることはもちろん、一緒に活動してくれる仲間の大切さや、支えてくださる方々への感謝の気持ちなど、たくさんを学んでいます。

本日のコンサートでは、音楽が持つ癒しや希望の力を信じ、皆様に心温まるひとときをお届けできるよう演奏いたします。どうぞお楽しみください！

曲目紹介

♪ TOMORROW

作曲：岡本 真夜 編曲：山下 国俊

岡本真夜さんが歌ったこの曲は、歌詞や旋律に、新たな一歩を踏み出すメッセージが込められており、世代を超えて親しまれ続けています。冒頭から元気いっぱいの音で始まり、演奏する私たちにも聴き手にも元気を与えてくれる楽曲です。

皆様に、未来への希望を感じ取っていただけるよう、思いを込めて演奏いたします。

♪ Amazing Grace

讃美歌 編曲：山下 国俊

世界中の多くの人々に愛されている「アメイジンググレース」は、困難や壁にぶつかった時でも希望を抱き、人々の心に温かさをもたらし、やすらぎと前を向いて進む力を与えてくれる楽曲です。

本日の演奏では、優しくも力強く美しいメロディーを、楽しく軽快なリズムとアップテンポのアレンジでお届けいたします。会場の皆さんと音楽を楽しめるこの時間を大切に思いながら演奏いたします。

出演者

フルート	永田 千乃 (2)	松永 彩花 (2)	杉原 怜亜 (1)
クラリネット	福田 修子 (2)	森山 花歩 (2)	江口 葉 (1)
アルトサクソ	高峰向日葵 (2)	中ノ瀬茉莉 (1)	
テナーサクソ	中尾 莉緒 (2)		
トランペット	高田 結衣 (3)	宮崎 凜海 (2)	小松 春輝 (1)
ホルン	堂野 ゆい (3)	永 翔匡 (2)	平野 尊 (1)
トロンボーン	畑口 太洋 (3)	平野 隼人 (3)	吉田 壮佑 (1) 平野 美羽 (1)
チューバ	山村 悠人 (2)		
パーカッション	井口 陽翔 (2)	金谷 秋季 (1)	峰 颯太 (1)
指揮	桑原 昌子		() 内は学年



平和の祈り

今年、長崎に原子爆弾が投下されてから 80 年の節目の年です。

1945 年 8 月 9 日午前 11 時 2 分に炸裂した、たった一発の原子爆弾によって多くの命、大切なものが奪われました。あの日から続く悲しみや苦しきは、今も多くの人の心に残っています。この出来事は決して忘れてはならず、私たちがこれからも語り継いでいくべき大切な記憶です。

戦争の悲惨さと命の尊さを知る長崎だからこそ、平和を祈り続けることに深い意味があります。世界では今も争いが絶えません。平和への祈りや思いを、私たちの言葉や行動で次の世代に繋いでいくことが必要です。

被爆 80 年という大切な節目に、こうして平和コンサートに集まった私たち一人ひとりが、心をつなげて平和を願うことには、大きな力があると信じています。静かに心を合わせ、そしてあたたかく、世界に向かって「平和の祈り」を届けましょう。

長与町平和事業の歩み

昭和32年	「忠魂碑」を建立	平成22年～	「原爆展」を開催
昭和42年	「原爆受難者之墓」を建立	平成23年	「平和で安全な町」宣言塔を庁舎前に設置 「長与町被爆体験談集」を作成
平成6年	「平和で安全な町」を宣言	平成27年	広島平和祈念式典に中学生を派遣 「長与国民学校」銘板を設置 広島被爆2世アオギリの木を長与中学校に植樹
平成8年	平和祈念碑「愛・二人」を中尾城公園内に建立 被爆2世柿の木を同所に植樹	平成27年～	「平和のつどい」を開催
平成12年～	「平和コンサート in ながよ」を開催	平成29年	「原爆救援列車」銘板と「C57 形蒸気機関車の車輪」を長与駅ロータリーに設置
平成13年	日本非核宣言自治体協議会に加盟	平成30年	「長与国民学校高田分校」銘板を九州電力長与変電所周辺に設置
平成17年	平和祈念碑「平和萬歳」を長与駅東口に設置 「灯ろう流し」を実施	令和元年	ICAN「ノーベル平和賞メダル・賞状(レプリカ)」展示会を役場1階町民ホールで開催
平成18年～平成26年	「平和のともじび」を開催	令和4年	「原爆救援列車」銘板と「C57 形蒸気機関車の車輪」を道ノ尾駅駅舎前に設置
平成18年	中尾城公園内に「平和の広場」を整備し、その象徴として「平和の塔」を建立	令和6年	「原爆被爆者救援・救護活動 炊き出し釜跡地」がある広瀬酒本舗（斉藤郷）に銘板設置
平成20年	平和首長会議に加盟 広島被爆2世アオギリの木を中尾城公園内に植樹		
平成21年	被爆3世ザクロの木を中尾城公園内に植樹		

平和モニュメント等



被爆体験談集



長与町では平和な世界の実現を願い、様々な平和事業を行っています。町内の祈念碑や遺構の情報、被爆体験談集について、上記二次元コード又は町ホームページ (<https://webtown.nagayo.jp/list00283.html>) からご覧ください。



「平和の詩」朗読

私達は願う

長与町立長与北小学校
前田 篤志・松島 聖真・岩田 あいか

私達は願う 「平和な世界を」
私達は願う 「誰もが幸せになる世界を」
私達は願う
「当たり前のことを 当たり前のできる世界を」

そして今を思う

安心してご飯が食べられること
安心して学べること
安心して眠れること
楽しく遊べること
みんなで笑い合えること
時にはぶつかり合って成長すること
すてきな音楽を聴くこと

どれも幸せな時間
どれもかけがえのない時間
どれも当たりの時間

私達はそんな時間を
大切にしたい つくりたい 広げたい

過去に思いを馳せ、未来に希望をもち、今を生きる

当り前のことを 当たり前のできるのは 私達だ
願いをかなえるのは 私達だ
みんなの幸せのために頑張れる人でありたい
みんなの力を合わせよう
世界中が青い空と笑顔であふれることを願って

日常

長崎県立長崎北陽台高等学校 安部 遙

鳥は歌い花が踊る
風は走り木々が喋る

どこからか聞こえる人の声
それを照らす太陽の光

飛び交う挨拶
交わす笑顔

何も変わらない朝
今日もまたいつも通りの日々が始まる

朗読：長崎県立長崎北陽台高等学校
放送部 山口 真由

願い

長与町立長与第二中学校 毛利 りあん

「あをとうとよ、君を泣く、君死にたまふことなかれ」
これは作家の与謝野晶子が日露戦争時に戦場に向かう弟の
ことを思って作った詩です。この詩から戦争の愚かさを感じ
取ることができます。

「ちちをかえせ ははをかえせ……へいわをかえせ」
これは広島で被爆した峠三吉の原爆詩集の一節です。
この一節から原爆の悲惨さを感じ取ることができます。

80年前、この長崎に原子爆弾が落とされ、7万人以上の命が
一瞬で奪われました。この地に生まれ育った私たちに何ができる
のか考えずにはいられません。

私たちは昨年、SDGsの観点から平和学習を行い、核兵器は
あらゆる側面で持続可能な世界に悪影響を与えることを学び、
さらにSDGsを達成しなければいけないと心に誓うことができました。

私たちの幸せは、家族や友達と過ごせたり学校に行ったり
することです。

しかし、世界の子どもたちの中には、働かなければならず
学校に通いたくても通えない、紛争の影響で家族や友達と
離れ離れで生活しているなど様々な問題があります。私たち
の中での当たり前のことが当たり前ではないのです。だから
こそ、今の生活に感謝することが大切だと思います。

今も世界では戦争や紛争が起こっていて、世界は「平和」と
は言えません。身近なところに目を向けると、日本でもい
じめや犯罪が起きていて本当の平和ではありません。戦争
は身近な小さなことから大きなことに発展していくので
す。だからこそ、相手への思いやりを大切に生活してい
きたいです。

いつもとおなじ日

長崎市立長崎商業高等学校 大松 桜子

朝 目が覚めて
制服を着て
「いってきます」って言えること

授業中 窓の外で
すずめがぴいびい鳴いている
それを聞いて ちょっと笑う友達がいる

お弁当のふたをあけたとき
お母さんの卵焼きが入っていたら
なんかうれしくなる

その全部が
「平和」ってことなのかもしれない

いつもとおなじ日が
いつまでも続きますように

朗読：長崎市立長崎商業高等学校
放送部 細山田 蒼・小浦 千怜



「平和の詩」掲載

野花の祈り

長崎県立長崎北陽台高等学校 上野 桃果

道端にたんぽぽが咲いてる
整備されたアスファルトの上にぼつり
広い広い、歩道の真ん中にぼつり
誰にも踏まれてない、まっすぐなたんぽぽ

道端にたんぽぽが咲いてる
雲一つない青空の下にぼつり
暑い暑い、夏の日にぼつり
それでも根強く、まっすぐなたんぽぽ

道端にたんぽぽが咲いてる
整備されたアスファルトの上にぼつり
広い広い、大地の上にぼつり
それでも気高く、青空に向かってまっすぐと
この空がいつまでも変わらないことを祈るように

本物の平和って？

長崎市立長崎商業高等学校 寺崎 款永

あなたが思う平和は

友達と仲良くすること？
毎日楽しく過ごせること？
戦争が全くない世界になること？

答えはあなたが考えたすべてのこと

あなたのような人が増えれば
きっとお互いに傷つけ合わない
きっとお互いを尊重し合える
そんな人が増えるはず

平和というものはつくられるものではなく
私たちでつくるもの

一人一人の考えが平和につながる

それが本当の平和というもの

平和の音

長崎市立長崎商業高等学校 森川 美和

小鳥がちゅんちゅんないている
草木がさらさらゆれている
子供がきゃーきゃー遊んでいる
今では当たり前前の日常の音
この へいおん を守りたい

あの日の傷み

長崎県立長崎北陽台高等学校 吉川 柚希

陽光が差し込むステンドグラス
今日も様々な人たちが
あの夏の傷みを重く知る
マリア像に祈りをささげる

あの時雲の隙間から見えた町
たった一瞬で廃墟と化した
誰かの嘆きと共に
神ですら救えぬ地と化した

風化される痛みや恐怖の記憶
今日も空には星と
あの日の夜と同じ二日月が在る
旧鐘楼は静かに夢路を辿る

神を信じる者よ
あの日の傷みを
神は知るのだろうか

平和の詩

長崎市立長崎商業高等学校 荒木 洸史朗

風がそっと 頬をなでる
小鳥の音が 朝を告げる
争いを知らない 幼き笑顔
人々の瞳に移る きれいな青空

銃声の代わりに 歌を紡ぎ
憎しみの代わりに 手を伸ばす
ただ 隣にいてくれる
それだけで 救われる心がある

怒りを呑み込んで 言葉を選び
愛を信じて道を歩む

ひとつの心で 世界が変わる
その小さな灯火を絶やさないように
争わない勇気を持ち続けよう

平和と塀

長崎県立長崎北陽台高等学校 那須 愛衣紗

平和な世界に

塀はない

笑える世界をつくりたい

平和な世界に

塀はない

みんな仲良くわらいたい

引く一の幸

長崎県立長崎北陽台高等学校 黒田 絢心

世界とかけて未完成のパズルと解く
その心はピースが足りない
妄想 死恐怖症 夜驚症 特効薬は無気力
果てしない悲哀の環状線
敢無く容易く誰かと代わる命
明日が来れば明日を求めてしまうように
リビドーは絶えず連鎖する

正解とかけて差別と解く
その心は君は上手にはじきだす
罵声 暴力 嫌いだと石を投げられる
鳴り止まない罵声の機嫌をとれたなら
僕は許されますか
きっと、僕が悪いのだから
身に覚えのない罪を贖っている
投げつけられた石の数だけ名を持てる
人の形で人になれなかった成れの果て

平和の願い

長崎市立長崎商業高等学校 生徒作品

目を覚ますと いつもの朝
朝の教室 笑い声
何気ない日々が うれしいんだ

争いを忘れて 手をつなごう
間違っている 認め合うこと
優しい言葉を 選ぶこと

私にできることは 小さいけれど
いつか世界を 変えていく

みんなに届け この想い



「平和コンサート in ながよ」合唱団

長与町内外で活動している長与プラム混声合唱団・オレンジハーモニー・高田コールファミリエ・コーロあやめ・長崎アカデミー男声合唱団・長崎ママのコーラスの各合唱団団員有志及び個人がコンサートの趣旨に賛同し、平和のハーモニーを発信しようと「平和コンサート in ながよ合唱団」として結成されました。毎週土曜日に集まり、それぞれの曲で歌われる歌詞の願いとその合唱の響きの中に「調和の世界」への思いを皆で確認し、一人ひとりのパートの音そして各パートの音が重なり合って作り出す和音を確かめ合って練習を重ねてきました。平和への思いを込めて「和の合唱」をお届けします。

また合同ステージでは、平和を願いともに歌おうと更に多くの参加者が集まり歌います。会場にお越しの皆様もどうぞ一緒に声高らかに歌い合いましょう。

曲目紹介

♪長崎の鐘

作詞：サトウハチロー 作曲：古関 裕而 編曲：池田 松洋

2023年に、永井博士の未発表原稿（序文）が発見されました。これは題名を「長崎の鐘」とする前の原稿で、「戦争を防ぎ、原子力を平和的に利用して頂きたい一念から」と執筆動機が記されており題名を「原子時代の開幕」としています。サトウハチローの詞には、当時の米軍の検閲をはばかったものと思われ原爆を直接描写した部分は全くありませんが、単に長崎だけではなく戦災を受けた全ての受難者に対する鎮魂歌であり、打ちひしがれた人々のために再起を願った詞です。古関裕而が渾身を込めて作曲し、藤山一郎が格調高く美しく歌い上げレコーディングされました。平和コンサートでも大切に歌われてきました。

♪折り鶴

作詞・作曲：梅原 司平 編曲：後藤 寿美

梅原さんが「折り鶴」をつくったきっかけは1981年5月に初めて広島に立った時です。原爆ドームを見上げながら胸の奥からこみ上げてくるものがあり、終戦からまもなく疎開先の掘っ立て小屋で産声をあげた梅原さん自身は親や兄弟から富山空襲のことを聞かされていた、その記憶や想像が重なり合って、初めて平和というものを真っ正面に据えた歌を創ろうと決心を固め、翌年1982年10月に「折り鶴」の歌がうまれました。「生きていてよかった」というフレーズは、被爆者の経験が自分を成長させ、平和への願いを強くさせたという肯定的な意味合いを表しています。戦争や原爆の悲惨な状況を乗り越えてきた彼らの強い意志と、平和を願って生きてきたことに対する感謝の思いが込められています。

プロフィール



「平和コンサート in ながよ」合唱団 指揮 **指方 浩** (作曲家)

長崎県生まれ。大阪音楽大学作曲学科卒業、同大学大学院修了。近藤圭・平井康三郎各氏に師事。大学院修了後長崎に帰り、長崎大学附属中学校、活水高校で教鞭を執る。その後、新しい音楽教育を求め渡米、音楽指導法をコロンビア大学教授R・ペース氏に学ぶ。

現在、指方音楽工房を経営し、ピアノ・音楽指導にあたる傍ら、東京・大阪を始め全国各地の講習会・研修会で講師を務める。

作曲作品は合唱曲・器楽曲の他、長与北小学校校歌、長与第二中学校校歌、など十数校の校歌を作曲している。またその親しみやすいメロディーの歌曲や合唱作品は全国各地で様々な人たちに毎日のように歌われている。

長崎ママのコーラス、コーロあやめ指揮者。アンサンブル「浩々」主宰。

♪大地讃頌 「混声合唱とオーケストラのためのカンタータ『土の歌』より終曲 作詞：大木 惇夫 作曲：佐藤 眞

(佐藤眞作曲ノートより) 1961年の暮れ、日本ビクターや東京混声合唱団、NHK交響楽団の関係者らが集まって「オーケストラと合唱によるカンタータを作ろう」という話が持ち上がり、翌年の歌会始の儀のお題が「土」だったので、我らも《土の歌》にしよう。

僕は当時東京藝大の院生で、作曲家としてはしりの頃。この《土の歌》も、ちゃぶ台にしがみつくようにして書いていました。広島生まれの大木さんは第二次世界大戦の時には「従軍詩人」を務めていました。軍の依頼で南方の前線に同行して、日本軍が負けて撤退する時にも「後ろに向かって前進しました」などと景気のいい表現をするのが仕事だった。そんな中で故郷に原爆が落ち……その葛藤を、この《土の歌》にもこめたのだと聞いています。

『大地讃頌』は戦争の恐ろしさと悲惨さを知る作者だからこそ深みを増す、大地と平和への感謝の想いが綴られた作品です。卒業式でよく歌われるのは、学校を卒業して大人へと近づいていく中で、自分を成長させてくれる自然への感謝と平和への願いがあるからなのでしょう。

出演者

指揮	指方 浩			
ピアノ	大塚 裕子			
ソプラノ	緒方 直子	指方美智子	下釜 奈美	下野 薫
	高塚 祐子	滝田みどり	永野久良代	平野みどり
	浜岡まゆみ	水島 節子	森永 ゆみ	
アルト	今道 豊子	久原岐代子	辻 奈津紀	坪田喜代子
	谷口 恵子	長谷川佐紀子	松尾 玲子	松本 昌子
	松本由美子			
テノール	下野 康文	朝長 初巳	西田 亨	横田 建次
	吉田 聿憲			
バス	金森 一郎	長谷川則昭	森永 健司	山崎 寛
合同演奏	荒木 律子	岩永 昌子	浦田美和子	大久保美紀
	大塚 淑子	木下 慈子	須田 稜子	武次 順子
	野田 好子	峰 喜美子	峰 せりか	

プロフィール



「平和コンサート in ながよ」合唱団 ピアノ伴奏 おおつか 大塚 ゆうこ 裕子

活水高校音楽コース、フェリス女学院音楽科卒。長崎県新人発表演奏会、西日本新人紹介演奏会に出演。姉とピアノデュオ「デュオ・スール」を結成、連弾、2台ピアノによるアンサンブル活動をしている。十八親和銀行混声合唱団他、複数の合唱団の伴奏者。長崎純心大学非常勤講師、長崎県音楽連盟運営委員。長崎音楽ボランティア協会会員。

出演者たちの 練習風景

子どものための弦楽器講座



ジュネス弦楽アンサンブル



「平和コンサート in ながよ」合唱団





子どものための弦楽器講座

平和への思いを若い世代へ引き継いでいきたいとの願いから始まった「子どものための弦楽器講座」も、今年で17回目を迎え、今回は小学生23名が参加しました。

ほとんどの受講生が弦楽器は未経験で、楽器の持ち方に始まり、弓の動かし方、弾くときの姿勢、楽譜の読み方など、5月からたくさんのことを勉強してきました。

講座が開講してから、今日この舞台に立つまでわずか3ヶ月という短い期間ですが、子どもたちには、楽器からきれいな音を出せたときの嬉しさや、みんなと一緒に演奏する楽しさが芽生えています。

今日の舞台では、子どもたちの成長と、音楽を奏でる楽しさを皆様にも感じていただけることと思います。

小さなヴァイオリニストとチェリストたちの晴れ舞台に、温かいご声援をお願いいたします。

曲目紹介

♪むすんでひらいて

作曲：ジャン=ジャック・ルソー

フランスのジャン=ジャック・ルソーが作曲しました。幾たびも異なる歌詞がつけられた曲として知られています。日本でも、讃美歌、唱歌、軍歌を経て、第二次世界大戦後に現在広く知られている童謡「むすんでひらいて」に至ってます。

♪ロング・ロング・アゴー

作曲：トーマス・ヘインズ・ベイリー

ロング・ロング・アゴーはイギリスに伝わる古い歌曲で、1833年にイギリスの音楽家トーマス・ヘインズ・ベイリーによって作曲されました。

「懐かしいあの話をしてくれないか、遠い遠い昔の～」という歌い出しで始まります。"思い出" "久しき昔"等の邦題でも親しまれています。

♪キラキラ星変奏曲

作曲：鈴木 鎮一

『キラキラ星』は、18世紀末のフランスで流行したシャンソン。1806年の『Twinkle, twinkle, little star』が童謡として世界的に広まり、日本には大正時代に紹介されました。鈴木鎮一氏がこの曲を元に作曲しました。

出演者

受講生 ヴァイオリン

小1	阿野結依子 高橋理紗子	岩澤 桜子 辻 誠人	植木 柊色 野元 陽稀	シャルマ ラミヤ
小2	中島 美朔	西島 侑治	松永 朔悠	
小3	青山 和花	佐藤 律	田崎 侑奈	
小4	植木 奏水	扇元 詩月	辻 大智	
小5	菊池 隼士	白石 葉子	諸岡 知樹	

チェロ

小4	宮崎 栞奈	
小5	中野 喜	
小6	金子 零司	中島 暁之

指導者 指揮 齊藤 享

ヴァイオリン	梶 耕輔	山本 博子	時津 仁美
チェロ	田辺 清士	村山 和聡	池田 晴子
ピアノ	中野みさと		

プロフィール

子どものための弦楽器講座
「平和コンサート in ながよ」ジュネス弦楽アンサンブル

指揮・ヴァイオリン指導 ^{さいとう} 齊藤 ^{あきら} 享



4歳よりヴァイオリンを始める。国際スズキ・メソッド音楽学院卒業。1992年フィラデルフィアに留学。グレン・ドーマン博士の人間能力開発研究所にてヴァイオリン指導も行う。

これまでに安田廣務、鈴木鎮一、ジュリアン・マイヤーの各氏に師事。1996年スズキ・メソッド長崎支部を開設、子ども達の指導にあたる（長崎市岩川町、つつじが丘教室、大村教室で行っている）。長崎OMURA室内合奏団に所属。

2010年から2022年の毎年8月9日、長崎の平和祈念式典において、被爆者歌う会『ひまわり』の伴奏を務める。長崎県音楽連盟会員。長崎音楽ボランティア協会会員。その他、イベント会場や披露宴、チャペル等に於いて、クラシックに限らず多彩なジャンルでの演奏活動を各地で行っている。

プロフィール

子どものための弦楽器講座

チェロ指導 ^{たなべ} 田辺 ^{きよし} 清士



愛知県名古屋市出身。9歳よりチェロを始める。長崎大学工学部機械システム工学科卒業後、同 大学大学院教育学研究科音楽教育専修を修了。チェロを林良一、宮田浩久各氏に師事。アフィニス夏の音楽祭 2022 長岡に参加。コントラバス奏者、亀子政孝と低弦アンサンブル Bottom line strigs を結成し、クラシック曲の演奏のみでなく詩の朗読と共演する等様々な活動を行っている。長崎 OMURA 室内合奏団団員。長崎県音楽連盟会員。



「平和コンサート in ながよ」 ジュネス弦楽アンサンブル

「ジュネス弦楽アンサンブル」は、「子どものための弦楽器講座」の卒業生有志によって結成され、本年2月に正式発足から丸15年となりました。3月にはジュネス独自の演奏会スプリングコンサートにて、設立15年を記念し、1期生～16期生の新旧総勢42名での演奏を披露しました。

また、先月7月には長与町の姉妹都市であるウェザーズフィールド町の副町長ご夫妻の表敬訪問時に演奏の機会をいただき、子どもたちは音楽による国際交流、平和交流を体験することができました。

今夏、広島・長崎は被爆80年を迎えました。平和の享受が常しえに続くよう、ジュネスはこれからも音楽を通して考え続けます。

曲目紹介

♪ふるさと

作曲：youth case

編曲：堀越 隆一

2010年「第61回NHK紅白歌合戦」の「僕たちのふるさとニッポン」のために制作された楽曲。後に東日本大震災の応援曲として用いられ、2013年の第80回NHK全国学校音楽コンクール小学校の部の課題曲にも選ばれました。

いつでも自分の心の中にある場所「ふるさと」。この長与町が皆さまの「ふるさと」と感じられるよう、心を込めて演奏します。

♪ボレロ

作曲：ラヴェル

編曲：鈴木 直己

1928年、フランスで作曲されたバレエ音楽で、最初から最後まで同じリズムと2つの旋律が反復するかなり特徴的な作品です。曲は静かに始まり、長い時間をかけて少しずつクレッシェンド（音が大きくなる）をしながら、爆発的な最後へと進んでいきます。

スペインの小さな酒場で静かに踊り始める一人の踊り子。その高揚感が徐々に周囲に伝わり、最後は熱狂的に客たちも踊り出す。その様子をリズムと旋律の反復、クレッシェンドが表しています。

今回私たちは、平和への祈りをこのクレッシェンドに乗せてお届けしたいと思います。

♪希望のうた

作曲：矢野 顕子

編曲：松浦 綾音

矢野顕子さんが作詞作曲を手掛け、2022年と2024年の紅白歌合戦で長崎県出身のMISIAさんが歌い、話題となりました。どんなことがあっても決して奪われはしない希望を、時に力強く背中を押すように、時に共に手を取り合って一歩踏み出すように歌う、平和への切なる願いが込められた楽曲です。

希望の明かりをご来場の皆さまのお心に灯せるように、一音一音大切に奏でます。

出演者



ヴァイオリン

4期生	日高 慶 (学生)		
6期生	小松 風香 (学生)		
8期生	小田川 尊 (社会人)	中野 弾 (中3)	
11期生	二又 凜心 (中1)		
12期生	川口 葉琉 (小6)	シャルマ カヴィヤ (小6)	
13期生	森脇 愛依 (中3)	福田 修子 (中2)	木下 翔太 (中1)
	溝田りおな (中1)	中野 喜 (小5)	
14期生	永 翔匡 (中2)		
15期生	才津 啓真 (小6)	尾田幸志朗 (小3)	栗屋 響暉 (小3)
16期生	峰 和花 (小5)	藤吉 璃來 (小3)	
有志	二又 聡子 (保護者)		

チェロ

15期生	中村 志穂 (小6)
有志	上河麻衣子 (卒団生保護者)

賛助出演 溝田 雪代 (ヴィオラ)

指揮 齊藤 享

ピアノ 中野みさと

指導者 梶 耕輔 岩永 雅子 山本 博子

プロフィール



子どものための弦楽器講座
「平和コンサート in ながよ」ジュネス弦楽アンサンブル

ピアノ伴奏 ^{なかの}中野 みさと

神戸女学院大学音楽学部卒業。ピアノを石毛明生・田隅靖子・池田洋子・K.Drafiの各氏に、室内楽を辻井淳氏に師事。日本ピアノコンクール東京本選第3位等の受賞歴。在学中、卒業後も、NY Summit Music Festivalに参加し、E.Briskin・P.Nersessian・D.Joffeの各氏のレッスンを受け、ソロ・室内楽の両演奏会に出演。国内では、堺新人演奏会や大阪ロシア総領事館での室内楽演奏会等に出演。合唱やヴァイオリン、マリンバの伴奏を務め、ヴァイオリン・琴・ピアノの異色トリオ活動も行って来た。現在は子育て真っ只中で、自身の音楽活動はお休み中。



長崎県央に位置するシーハットおおむら（さくらホール）を拠点に、プロの室内オーケストラとして、県内在住及び出身演奏家等を中心に2003年結成、迫昭嘉（ピアノ）を音楽監督として始動。2009年よりアーティストック・アドバイザーに松原勝也（ヴァイオリン）を迎え、さらなる演奏力や音楽性の向上に努めながら質の高い室内オーケストラを目指している。日本オーケストラ連盟準会員。

曲目紹介

♪ デイベルティメント op.40

作曲：B.H. ロンベルク

ロンベルクは1767年ドイツで生まれ、チェロ奏者・作曲家として生涯各地で活躍しました。23歳の時にはドイツのボンでヴィオラ奏者をしていた同世代のベートーヴェンに出会い、演奏家としても交流があったそうです。

さて、今回の演奏曲は「デイベルティメント」。日本語では「嬉遊曲」と訳されます。

18世紀頃にとっても流行った音楽のジャンルのひとつで、言葉の通り軽快で明るい曲調が多く、深刻さはあまり感じられません。

貴族の食卓や娯楽・お祝いの場面でよく演奏されていました。

本日の演奏曲も、まるでファンファーレのような弦楽三重奏の響きの中から鳥が羽ばたくようにフルートが自由にカデンツァを歌い出す輝かしい冒頭部分がとても印象的です。

「デイベルティメント」はかしこまって聴く… というより生活の隣に寄り添うフレンドリーな音楽だったのですね。

これこそ音楽の真のかたち。

音楽はいつもそこにあって私たちの心や生活を豊かに彩ってくれます。

そこから生まれる優しい気持ちが連鎖して平和な未来へと繋がっていきますように。

今年もこの平和コンサートで皆様と音楽を共有できる喜びをデイベルティメントに込めて演奏いたします。

アウトリーチコンサート

6/4 長与中学校・長与北小学校

6/5 洗切小学校

「平和コンサートinながよ」の一環としてアウトリーチコンサートを町内の小中学校3校で実施しました。



アウトリーチとは

「手を伸ばす」という意味で、演奏家から観客に手をさしのべ、音楽に触れる機会を提供することが目的です。

出演者

フルート 永留 結花 ヴィオラ 岡本 誓志（賛助出演）
ヴァイオリン 中西 弾 チェロ 田辺 清士

プロフィール



フルート 永留 結花

大村市出身。
武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科卒業。
同大学卒業演奏会、新人演奏会出演。
第34回 長崎県新人発表演奏会に出演、準グランプリ受賞。
第59回 西日本国際音楽コンクール最高位受賞。
フルートを濱砂由美子、中山早苗、吉岡アカリの各氏に師事。
これまでに2枚のオリジナルCDをリリース。
現在、長崎 OMURA 室内合奏団団員。
永留結花フルート教室主宰。



ヴァイオリン 中西 弾

長与町出身。5歳からヴァイオリンを始める。
長崎県新人発表演奏会、西日本出身新人紹介演奏会に出演。第10回宮日音楽コンクールにて優秀賞を受賞。川口千穂、故松村英夫、松野弘明、豊嶋泰嗣の各氏に師事。長崎 OMURA 室内合奏団団員。
クラシックに留まらずポップス、オリジナル楽曲とライブ活動を積極的に展開。クルーズトレインななつ屋 in 九州での演奏クルーとして乗務。葉加瀬太郎オーケストラコンサート2021、2022参加。これまでに自身のオリジナル楽曲を収録したCDを10枚リリースする等、楽曲制作も精力的に行っている。



ヴィオラ 岡本 誓志

長崎市出身。千葉大学理学部卒。3歳よりヴァイオリンを始め、弾くんの弾くヴィタリ作曲チャコンヌに憧れて、苦しいときも泣きながらヴァイオリンを続ける。長崎ジュネス、諫早交響楽団、長崎北高校オーケストラ部等で合奏、音楽の楽しさを学ぶ。大学進学を期に、ヴィオラを弾く両親の影響、また体格の良さを活かしヴィオラを始める。大学卒業後は関東で働いていたが、長男誕生を機に長崎へUターン転職し、現在は長与町在住。これまでにヴァイオリンを川口千穂、片田江智子、松岡洋子、ヴィオラを内田博、小山貴之の各氏に師事。第20回長崎若い芽のコンサートにヴァイオリンで、第42回長崎県新人演奏会にヴィオラで出演。



チェロ 田辺 清士

長崎 OMURA 室内合奏団団員。詳しいプロフィールは14ページを参照。



合同演奏

曲目紹介

♪千羽鶴

作詞：横山 鼎 作曲：大島 ミチル 編曲：三河 正典

戦争によりその犠牲になった方々に花を手向けると同じく、千羽鶴を折る行為は、平和を願う意思表示でもあります。そのことを歌として歌う演奏行為は、その歌声を聞き内唱される聞き手と一緒に平和を希求する決意となり生活の中で行動となることでしょうか。被爆地長崎より生まれたこの曲を、平和への願いを込めて歌いたいと思います。

♪花は咲く

作詞：岩井 俊二 作曲：菅野 よう子 編曲：三宅 一徳

2011年3月11日に発生した東日本大震災の被災地および被災者の物心両面の復興を応援するために制作されたチャリティーソングです。多くの人によって歌い継がれていますこの曲は、地球規模の気象変動による災害や、世界各地の紛争・戦争による犠牲者を含めその亡くなられた方々の彼岸の世界から、真の花が咲いていない此の世界に住む私たちへの応援メッセージと受け取れます。「希望を持って頑張れ」と、「花はきっと咲く」と。

この曲を亡くなった方々から私たちへの願いとして頂いて、皆さんと一緒にその思いを受けとめ伝えていきたいと思います。

♪長与町町歌～明日をひらく

作詞：山田 喜孝 作曲：指方 浩

1989年(平成元年)長与町町制施行20周年を記念して制作され、長与町合唱連盟7団体百余名によって制定式典で歌われ披露されました。春休み・夏休み・冬休みの夕方、児童生徒の帰宅を促す親しみやすい町歌のメロディーがチャイムの響きで町内に流れています。ここ長与町に住み続けることにより豊かな美しい平和な町になりますように、そういった「明日をひらく」町になることを喜び、共に歌っていきましょう。

♪ふるさと

作詞：高野 辰之 作曲：岡野 貞一 編曲：指方 浩

大正3年「尋常小学唱歌」に掲載以来、多くの人たちに愛され歌われてきましたが、戦時下兵士たちに望郷の念を起し国策に不利として教科書に載せていない時期がありました。私たちは一人ひとりそれぞれ生まれ故郷を持っています。そのそれぞれの故郷を思って歌うとき、共通の理想郷としての「ふるさと」が心の中に描かれ共有されていきます。

その理想郷から照らし出された豊かな「ふるさと」をここに実現し、生き生きと共に歌い生活していきましょう。

合同演奏出演者

ヴァイオリン 山本 奈央 (ジュネス弦楽アンサンブル 8期生)

クラリネット 橋本那津子 福田多美恵

アルトサクソ 中道 政幸

長与町町歌

— 明日をひらく —

作詞 山田 喜孝
作曲 指方 浩

Allegretto *C mf*

1. みどりよやまよ さやかかなかぜよそら
2. ひかりよわかまよ さやかかなかぜよそら
3. ぎんばよかうみよ さやかかなかぜよそら

はれく - ましすみ て こ と の お の や ま
- - しずか に に な と が - の お の わ や ま
- - やさし い い こ と - の う み か か が

のぞ - すい その の に ひ ら けい た る う つ
や - く れ まき ち いた だ よ たき っ て と ゆへ -

くたい しかな ささと と わ が ま ち な が よ
たい かわ な ささと と わ が ま ち な が よ

1~3. あ い と こ こ ろ と ふ れ あ い の
ゆ め と のぞ み が ふ く ら ん - で

C mf あしたをひらく こえはずむあし
Am たをひらく こえはずむ

一、緑よ 山よ さやかな風よ
空は真澄みて 琴の尾の
山のすそ野に ひらけたる
美しい里 わが町長与

※愛と心と ふれあいの
夢と望みが ふくらんで
明日をひらく 歓声はずむ
明日をひらく 歓声はずむ

二、光よ 川よ さやかな風よ
流れ静かに 長与川
川沿いの町 生き生きと
豊かな里 わが町長与

※(繰り返し)
三、銀波よ 海よ さやかな風よ
広く優しい 琴の海
輝く歴史 漂って
平和な里 わが町長与

※(繰り返し)

2025 平和コンサート

♪長崎の鐘

作詞：サトウハチロー 作曲：古関 裕而

こよなく晴れた青空を 悲しと思う切なさよ
うねりの波の人の世に はかなく生きる野の花よ
なぐさめはげまし 長崎の
ああ 長崎の鐘が鳴る

召されて妻は天国へ 別れてひとり旅立ちぬ
かたみに残るロザリオの 鎖に白き わが涙
なぐさめはげまし 長崎の
ああ 長崎の鐘が鳴る

こころの罪を打ち明けて 更け行く夜の月すみぬ
貧しき家の柱にも 気高く白きマリア様
なぐさめはげまし 長崎の
ああ 長崎の鐘が鳴る

♪折り鶴

作詞・作曲：梅原 司平

生きていてよかった それを感じたくて
広島のみちから 私は歩いてきた
苦しみをことばに 悲しみをいかりに
きずついたからだで ここまで歩いてきた
この耳をふさいでも 聞こえる声がある
この心閉ざしても あふれる愛がある
はばたけ折り鶴 私からあなたへ
はばたけ折り鶴 あなたから世界へ

生きていてよかった それをみつeketくて
長崎のみちから 私は歩いてきた
この胸のいたみを うたごえにたくして
焼けあとの下から ここまで歩いてきた
この耳をふさいでも 聞こえる声がある
この心閉ざしても あふれる愛がある
はばたけ折り鶴 私からあなたへ
はばたけ折り鶴 あなたから世界へ

♪大地讃頌 カンタータ「土の歌」より

作詞 大木 惇夫 作曲 佐藤 眞

母なる大地の ふところに
我ら人の子の 喜びはある
大地を愛せよ 大地に生きる
人の子ら その立つ土に感謝せよ

平和な大地を 静かな大地を
大地を褒めよ 讃えよ土を
恩寵の豊かな大地 我ら人の子の
大地を褒めよ 讃えよ土を
母なる大地を 母なる大地を
讃えよ 褒めよ 讃えよ土を
母なる大地を ああ
讃えよ大地を ああ

♪千羽鶴

作詞：横山 鼎 作曲：大島 ミチル

平和への誓い新たに 緋の色の鶴を折る
 清らかな心のままに 白い鶴折りたたみ
 わきあがる熱き思いを 赤色の鶴に折る
 平和への祈りは深く 紫の鶴を折る
 野の果てに埋もれし人に 黄色い鶴折りたたみ
 水底に沈みし人に 青色の鶴を折る

平和への願いをこめて 緑なる鶴を折る
 地球より重い生命よ 藍の鶴折りたたみ
 未来への希望と夢を 桃色の鶴に折る
 未来への希望と夢を 虹色の鶴に折る

♪花は咲く

作詞：岩井 俊二 作曲：菅野 よう子

真っ白な雪道に春風香る わたしはなつかしい
 あの街を思い出す 叶えたい夢もあった
 変わりたい自分もいた 今はただなつかしい
 あの人を思い出す 誰かの歌が聞こえる
 誰かを励ましてる 誰かの笑顔が見える
 悲しみの向こう側に
 花は花は花は咲く いつか生まれる君に
 花は花は花は咲く わたしは何を残しただろう
 夜空の向こうの朝の気配に わたしはなつかしい
 あの日々を思い出す 傷ついて傷つけて

報われず泣いたりして 今はただ愛おしい
 あの人を思い出す 誰かの想いが見える
 誰かと結ばれてる 誰かの未来が見える
 悲しみの向こう側に
 花は花は花は咲く いつか生まれる君に
 花は花は花は咲く わたしは何を残しただろう
 花は花は花は咲く いつか生まれる君に
 花は花は花は咲く わたしは何を残しただろう
 花は花は花は咲く いつか生まれる君に
 花は花は花は咲く いつか恋する君のために

♪ふるさと

作詞：高野 辰之 作曲：岡野 貞一

- | | | |
|-------------|------------|-----------|
| 一、うさぎ追いし彼の山 | 二、いかにいます父母 | 三、志をはたして |
| こぶな釣りし彼の川 | つつがなしやともがき | いつの日にか帰らん |
| 夢は今もめぐりて | 雨に風につけても | 山は青きふるさと |
| 忘れがたきふるさと | 思いいづるふるさと | 水は清きふるさと |

program

プログラム

15:00 開演 17:00 終了予定

町長挨拶

1

TOMORROW
Amazing Grace

長与第二中学校 吹奏楽部
指揮 桑原 昌子

2

平和の祈り

バックミュージック 中西 弾

3

平和の詩朗読

朗 読 長与北小学校児童・長与第二中学校生徒
長崎北陽台高等学校生徒・長崎商業高等学校生徒
バックミュージック 中野 みさと

4

長崎の鐘
折り鶴
大地讃頌

合 唱 「平和コンサートinながよ」合唱団
指 揮 指方 浩
ピアノ 大塚 裕子

5

むすんでひらいて
ロング・ロング・アゴー
キラキラ星変奏曲

子どものための弦楽器講座
指 揮 齊藤 享
ピアノ 中野 みさと

休 憩（10 分間）

6

ふるさと
ボレロ
希望のうた

「平和コンサートinながよ」ジュネス弦楽アンサンブル
指 揮 齊藤 享
ピアノ 中野 みさと

7

ディベルティメント op.40

長崎OMURA室内合奏団メンバー
永留 結花、中西 弾、田辺 清士、岡本 誓志(賛助)

8

千羽鶴
花は咲く
長与町町歌「明日をひらく」

「平和コンサートinながよ」合唱団
長崎OMURA室内合奏団メンバー
長与第二中学校吹奏楽部
「平和コンサートinながよ」ジュネス弦楽アンサンブル
子どものための弦楽器講座指導者
ピアノ 大塚 裕子
指 揮 指方 浩

9

ふるさと

出演者一同

「平和コンサート in ながよ」 実行委員会

委員長 指方 浩 副委員長 中西 弾 委 員 平野 義久・梶 耕輔・時津 仁美

会場アナウンス：長崎県立長崎北陽台高等学校放送部 関 真志・山口 心美

主催：長与町・長与町教育委員会・平和コンサート in ながよ実行委員会

共催：長与町文化協会